福井県衛生環境研究センター研究員活動報告　概要

発表演題名	坂井市内の保育所における RS ウイルス感染症の流行について
学会名	第 40 回福井県小児保健協会学術集会
発表者名	中村　雅子　（保健衛生部）
開催場所	福井商工会議所ビル
開催日時	平成２０年２月２３日（土）
発表内容	2007 年 11 月下旬から 12 月中旬にかけて、坂井市内の１保育所（園児数 214 名、年齢 0～6 歳）において RS ウイルス（以下 RSV）感染症の流行があった。 RSV 感染症が疑われたのは 43 名であり、発症率は 1 歳児クラスが 80.0%(24/30)と最も高かった。症状は咳・鼻炎・発熱・気管支炎等であり、鼻炎・咳が初期症状であった。最高発熱は平均 38.9 度、38.0 度以上の有熱期間は平均 2.2 日であった。園児から家族に感染したのは 21 名(48.8%)で、このうち 11 名(25.6%)は両親等の成人に感染した。 医療機関で採取した 8 検体の鼻汁を検査した結果、RT-PCR 法にて全検体から RSV が検出された。A 型が 3 検体、B 型が 2 検体であり、残る 3 検体からは A 型と B 型の両方が検出された。